

県営住宅建替事業 【R-4】

<県営住宅常盤上一団地建替事業（大町市）>

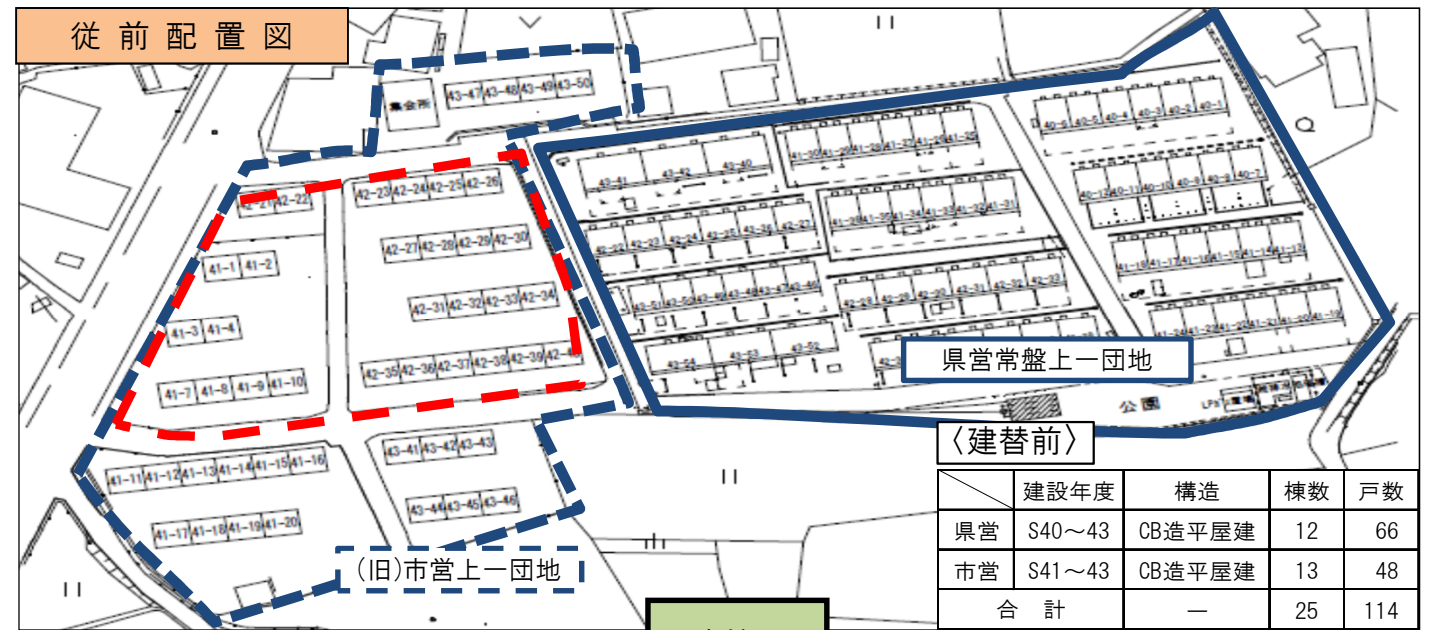
大町市との協働建替事業（概要）

- 老朽化が著しい大町市内の公営住宅は、居住環境の改善が県と市の共通課題
 - 県営住宅の建替方針に沿い、将来的な移管を前提に大町市内の公営住宅の効果的な再編(集約)について、市と協議を実施
 - 県営・市営が隣接する2団地を核として行う協働事業として合意
 - 県営常盤上一団地：市営上一団地を県に移管（H28）し、県営住宅部分と併せて県で建替を行い、概ね建設後25年で市へ移管
（県営常盤上一団地 66戸、市営上一団地 48戸 ⇒ 建替 87戸）
 - 市営借馬団地：県営かま団地を市へ移管（H29）し、市にて維持管理
（県営かま団地 52戸、市営借馬団地 128戸）
- 他団地においても、継続的に再編協議を行う。

常盤上一団地のコンセプト

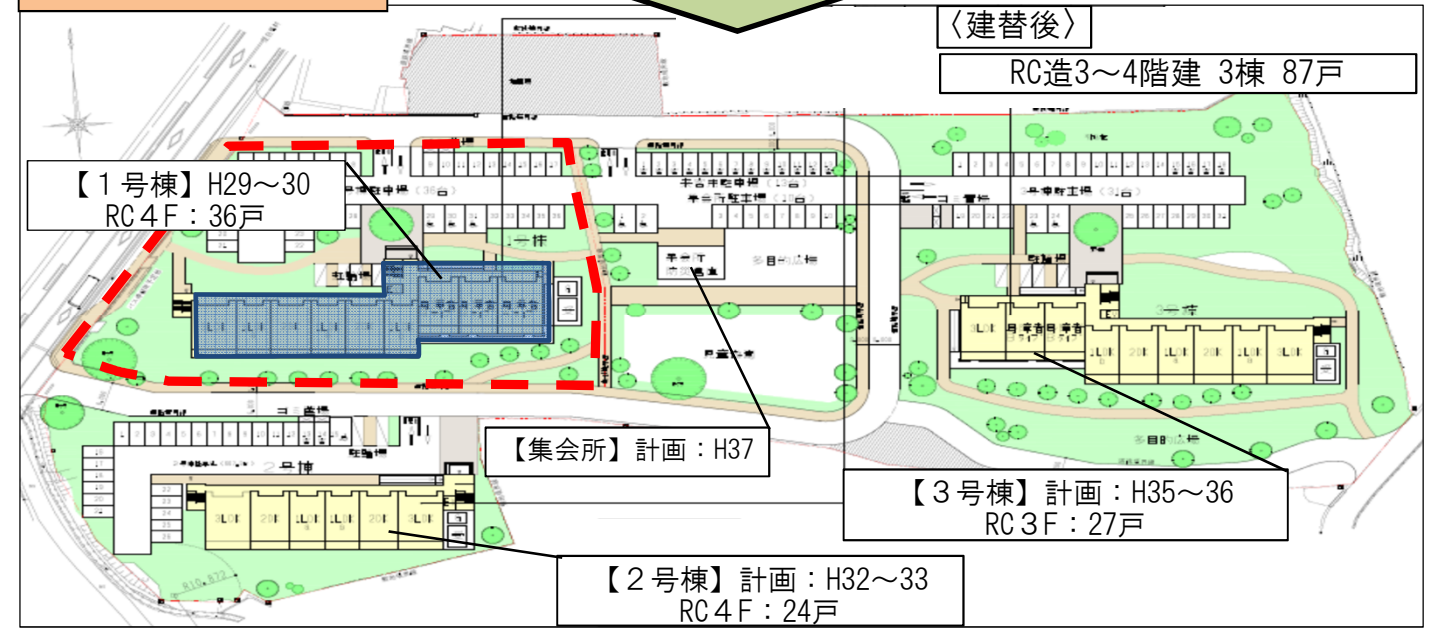
- 子育て・高齢者等に対応した間取り
 - ・ 部屋の間仕切りを「可動収納」とし、生活スタイルにあわせた間取り変更が可能（3LDK）
 - ・ 小さな子供を見守れるように対面キッチンの採用（3LDK）
 - ・ 多様な入居者に対応した住戸プラン ⇒ 3LDK、2DK、1LDK、身障用住戸（車いす）
- 景観調和と環境配慮
 - ・ 周辺の街並みや田園地帯との調和を図るため、屋根は耐雪型の勾配屋根を採用
 - ・ 省エネルギー化として外断熱工法による高気密・高断熱、LED照明の設置、ソーラー外灯等
 - ・ 内装材に県産材を積極的に活用
- コミュニティに配慮した空間づくり
 - ・ 住民間のコミュニティや災害時の避難に配慮し、団地中央を集会所や広場とする空間づくり

従前配置図

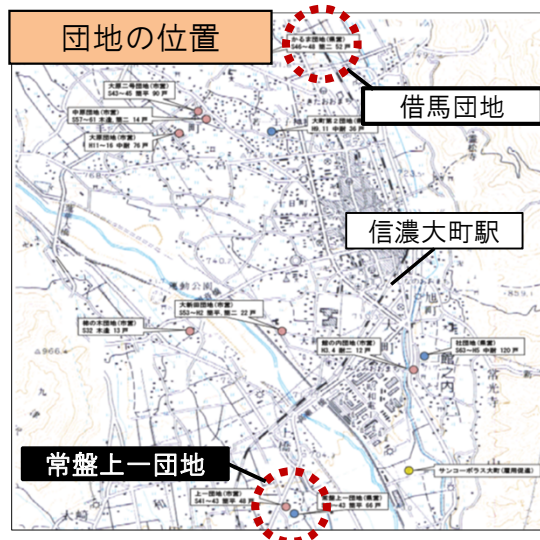


〈建替前〉				
	建設年度	構造	棟数	戸数
県営	S40~43	CB造平屋建	12	66
市営	S41~43	CB造平屋建	13	48
合計	—	—	25	114

建替計画図



※建替計画等は、変更する場合があります。



1号棟イメージ			
	住戸タイプ	戸数	備考
【1号棟】 建設年度：H29~30 構造：RC造4F 戸数：36戸	3LDK	7戸	
	2DK	14戸	
	1LDK	12戸	
	車いす用	3戸	